

組合「長時間労働解消を」

教育長「市町教委がいかに真剣に取り組むかが問題」

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL(087)867-4797
FAX(087)867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

香教組ホームページ
<http://www.niji.or.jp/home/kakyoso/homepage>

夏季学習交流集会
坂出グランドホテル
8月11日(土)
18:00~交流会
8月12日(日)
9:00~権利学習会
10:30~分科会

香教組は6月6日、「2011年度末人事異動、賃金引き上げ等に関する要求書」にもとづき、県教委交渉を行いました。

中尾香教組委員長は「昨年度育鵬社の教科書が採択されたことは遺憾だ。また別の機会をさせていただく」とあいさつしました。重点項目についての交渉の概要を示します。

希望と納得に基づく人事を

香教組 持ち上がって卒業まで見届けたいのに、異動になる場合がある。

県教委 先生方の気持ちもあると思うが、希望全てを叶えることは難しい。

香教組 学校の事情もあるの十分聞いてほしい。

県教委 勤務年数だけでなく、学校課題や教員の構成も考えている。

香教組 介護・子育て・健康面など事情を配慮すると言ったにもかかわらず、配慮のない人事が行われた。

県教委 介護は本人の事情と認識しているが、調査票の書き方や面談がどうだったのか個別のことなのでここでどうこう言えない。

香教組 人道上の理由と思われるので、しっかりと聞いてほしい。

新採の配置も勤務の一つとして認めること。

県教委 検討させていただく変更を約束するものではない。



要求する香教組役員

香教組 新採の3年での異動が多いのではないかと考える。

香教組 住所まで変更して言っているのに、3年でまた別の学校というのではたまらない。赴任前の12月に集めたり、3月にスタート研修を行ったり、言われたとおりに働かない人はだめだととらえているような気がする。

香教組 勤奨手当の差別支給

香教組 香教組のとったアンケートでは、9割を超える教職員が勤奨手当の勤務実績反映について、やる気が出ない。この制度を続けてほしい。

香教組 客観的に査定するように行われている研修の効果は出ているのか。

県教委 新しく校長になった人は人事評価に対する研修を行っている。校長は3年に1回受けることになっている。どういった内容が開示してほしい。

香教組 検討したい。

香教組 渡し方はもっと考えるべき。

県教委 管理職はやる気を引き出せるような渡し方をすべきであると思う。

くないと回答している。この制度が本当に教育にとってプラスと考えているのか。

県教委 人事委員会勧告を踏まえた支給となつていて、勤務実績を反映している。教職員からは措置要求が出ているが、行政からは出ていないのか。

香教組 基準が明確でない。不服申立がきちんとしたシステムになっていない。

県教委 校長に申し出たり、事務所に申立できるよになつてきている。

香教組 文書として配つていない。手渡すはずが机の上に置いてある。システムを説明し、校長が言うことが大事。管理職の主観で査定が行われていることが問題。良好でも今までよりは下がっている。

県教委 信頼が基本であるが、いかに公平に運用するかが大切である。学校の和がこじれないようにすべきであるとは思っている。

香教組 客観的に査定するように行われている研修の効果は出ているのか。

県教委 新しく校長になった人は人事評価に対する研修を行っている。校長は3年に1回受けることになっている。どういった内容が開示してほしい。

香教組 検討したい。

香教組 渡し方はもっと考えるべき。

県教委 管理職はやる気を引き出せるような渡し方をすべきであると思う。

香教組 CEART勧告をどう受け止めるのか。

県教委 国の制度に関わる問題。香川に問題があるから来たというふうには認識していない。制度を無視しているというわけではない。尊重したいと思つている。

長時間労働解消

香教組 教員業務改善アクションプランにより、どれだけ長時間労働解消になるのか見通しは。

県教委 調査の廃止・統合、研修会の廃止、時間短縮を行う。

香教組 管理職の姿勢が大きく影響する。周知・指導は行っているのか。

県教委 先生が余力を持って、教育・子どもの指導にあたるべき。市町教育委員会がいかに真剣に取り組むかが問題である。



回答する県教委

ハワハラ問題

香教組 ハラスメント啓発資料が作成されたが、閲覧しただけの学校、できたこと知らない学校がある。現場できちんとしたハラスメントの研修ができるようにしてほしい。

小黑板 金環日食、金星の太陽面通過と続いた自然の神秘の天体ショーに感動した。しかし、野田首相の原発再稼働発言にはがっかりした。うんざりした。どうして、生命重視でいこうとしないのか。福島原発事故が起きて、ドイツは原発を全廃することを決めた。1986年チェルノブイリ事故が起きたときには、スイスは原発を止めて、自然エネルギーへ転換しようという国民運動があった。日本は、チェルノブイリ事故以後22基も原発を作り、福島原発事故から1年過ぎてても原発推進か脱原発か方向が定まらず、夏に電力が逼迫するとマスコミを使って煽るとともに、急いで間に合わせに作ったような安全のお墨付きを用意し、再稼働にこぎつけた。崩れて危険な4号機があるのに。まだ多くの人が避難生活をしているのに。またこれから放射能による被害がどんなに広がるか分からないのに。国民世論は、経済重視から生命重視に変わってきているのに。日本には、自然エネルギーがあるのに。地球や生命に甚大な被害を及ぼすものはあつてはなりません。一部の利益追求のために世界中を危険に巻き込もうとしているのだろうか。

生命重視

2013年採用に向けて教員採用試験 第2回「パワーアップ学習会」を開催



集団面接がとても苦手で悩んでいたのですが、自分の面接の弱点が分かり、学校で面接を見てもらおうと思います。今年こそ、合格したいです。
改めて自分が目指す教師像や取り組みなどについて考えることができました。
面接の個人別評価を5段階でしてほしかった。たくさん人のいるいろいろな話を聞きとても参

参加者の感想

香教組・香川高教組主催の「教員採用試験第2回パワーアップ学習会」が6月9日に高松テルサで開かれ、県内の臨時教職員等約70名が参加しました。
参加者は、青年教員から面接についての諸注意を聞いた後、テーマについて自分の考えをまとめる練習をしたり、集団面接を行ったりしました。

集団面接の練習に挑戦

香教組・香川高教組主催の「教員採用試験第2回パワーアップ学習会」が6月9日に高松テルサで開かれ、県内の臨時教職員等約70名が参加しました。
参加者は、青年教員から面接についての諸注意を聞いた後、テーマについて自分の考えをまとめる練習をしたり、集団面接を行ったりしました。

勉強会に参加して、面接に対する準備が不十分だと気付きました。また、面接においての自分の強み、自分では気付いていなかった話し方の特徴を知ることができ、改善して面接に臨むことができそうです。サークルの勉強会にも参加させていたのですが、役立ちました。ありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。

技術的な面だけでなく、様々な考えを聞くことができ、非常に勉強になりました。

最後までがんばりましょう 採用試験勉強会

高松（香教組会館） 19：00～
6月12日（火）26日（火）7月10日（火）
三豊（三豊教育会館）19：00～
6月18日（月）7月2日（月）
丸亀（市民会館） 19：00～
6月20日（水）7月4日（水）

母親大会行われる

6月10日高松テルサで第57回香川県母親大会が開かれました。
記念講演は、岡山県労働者学習協議会事務局長の長久啓太さんが「憲法の輝くあしたへ」～東日本大震災後の日本と世界を考える～をテーマに話してくれました。日本国憲法の言葉は、深く優しい。それが憲法を学ぶたびに感じる私の思い。良くも悪くも言葉というのは、人間をつくる。憲法は、どのように人間をとらえ、どのような生き方を私たちに投げかけているのか。東日本大震災後の、「あした」を私たちはどのように歩いていけばよいのか話して下さいました。



午後からは、7つの分科会が行われました。
第2分科会「子どもが健やかに育つ学校って？」では、香教組の大久保書記長がつめこみ・道徳・武道・教科書問題・大阪教育基本条例など子どもたちをとりまく厳しい教育問題を提起しました。参加者は、競争的な教育の問題点、35人学級の良さ、育鵬社の教科書問題などについて、発言しました。
司会の溝渕先生は、父母・子ども・教職員・地域が一体となって、いけないものはいけないとはっきりと意思表示をしていかないといけないとまとめていました。

面接が具体的な内容で身についたとの実感があつた。アドバイスの確実なもので受け入れられないものも多く、その点を明確にしてもらったのがありがたかった。現場で働かれています先生方の具体的なお話を聞くことができ大変勉強になりました。
なかなかできない面接練習がグループでできて良かったです。自分の弱点も教えてもらえて、他の先生方の考えも聞けて、面接対策が少しできました。自分の一番のアピールポイント、一番のこだわり、しっかり見つけて、面接官にアピールできるようにしたいと思いました。

寄宿舎教育の充実と発展を求める会

第5回記念講演会

日時 6月23日(土) 10:00～12:00

場所 香川県教育会館 第1,2会議室

永崎 靖彦氏を迎えて
京都府立高等学校教職員組合 副委員長

香川県は2005年から「寄宿舎指導員」の採用試験が実施されていません。お金がないことを理由に、退職者がいても新規採用せず、現在、期限付き講師が5名となっています。今年度は4名退職し、来年度、再来年度と退職者が続きます。
寄宿舎指導員は、障害者の気持ちを理解し、適切な対応しなければなりません。それには、長年の経験の積み重ねが大切です。講師ではなく、正規の職員を採用することが寄宿舎教育にとって大切です。